

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	徳風幼稚園
作成日	2025.3.19

1 活動のテーマ

<テーマ>

五感を通して感性を育てる

<テーマの設定理由>

- ・植物を育て、感性を養う。
- ・感覚、数、言語 等に興味、関心をもった時期を見逃さず教具や教材に触れる機会を増やす。

2 活動スケジュール

全園児、令和6年10月頃から、多様な植物を育てる。 ※卒園生以外は今後も継続して行う。
植物を『植える』『育てる』『観察する』を経て、興味関心を持ったタイミングで教具教材に触れたり、表現したりする。

3 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・土、プランター、球根、種、苗 …植えて園庭やテラスに置く。
- ・水、ペットボトル、使い捨てカップ、球根 …水栽培・根の観察できるように子どもの背の高さの棚に置く。
- ・じょうろ …水道に配置する。
- ・顕微鏡、教材、色紙、ポスターカラー …教員が管理し、子どもたちと調べたり、触れたり、表現したりする。
- ・記録媒体 …教員が子どもたちの様子と植物の成長を記録できるように持ち歩く。

4 探究活動の実践

<活動内容>

- ・クラス毎に球根・種・を植える。
 - ⇒土・プランター・園庭の植木にチューリップ・ムスカリ・スイセンを植える。
 - ⇒水を入れた透明のカップやペットボトルにヒヤシンスの球根を植える。
- ・水やり・観察をしながら育てる。
- ・植物の成長を観察し、葉を顕微鏡で調べる。
- ・植物の形や色を触れて見て感じて、教具教材に集中して取り組む。
- ・花が咲いた様子を観察し、絵にしてみたり、折り紙で折ったり絵具で花を作成したりする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

言葉の声・姿	写真※図日より(保護者共有済み)引用もあり～
<p>・絵本や図鑑を見て球根や種から花が咲くことを知る。 ・実際の球根や種を観察してから、植えてみる。 ⇒『何色の花が咲くかな』『水やりしたい!』 『(球根をみて)どんぐり?たまねぎ?が出来るのかな…』 不思議そうに球根を見る子もいれば、早く育てたくてうずうずしている様子の子もいた。</p>	
<p>・毎日子どもたちが自主的に水やりを行っていた。 ⇒球根・種の変化を発見するとすぐに 『みてみて!何かでてきた!』と教員に教えてくれる。 『球根の下から白いひげみたいなのが出てきた!』と驚く様子もあった。</p>	
<p>・葉が伸びてくると『なんで同じ日に植えたのに大きさが違うのかな』『葉っぱの先に色がついてきたから、この色が咲くのかな?』『葉っぱ、分厚くてちょっとふさふさしてる』『変な形の葉っぱある!』と、子どもたちからたくさんの気づきや疑問が聞こえた。 ⇒顕微鏡を出して葉っぱを拡大してみると、『きれい!』『つぶつぶいっぱい!』と大興奮な様子が見られた。 ⇒教材を出してみると、いろいろな形の葉を触ってみたり、なぞって絵を描いたりする姿がみられた。</p>	
<p>花が咲き始めると『土がなくてもお花、咲いたよ!』『お日様が当たってない所は花が咲くの遅いね』『お花のいい匂い〜』『花の中に何かあるよ!!なんだろう?』『いろいろな色のチューリップが咲いた!』『もっと育てたいな〜』等と、いろいろな意見や気持ちを言葉にしていた。年少組の子どもたちは赤色とピンク色のチューリップしかみたことがなかったが、図鑑で黄色や紫色のチューリップがあることを知り、様々な色の花を折り紙で作っていた。</p>	<p>◆ヒヤシンスのお花が咲いたよ◆</p>

5 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

植物を育てる経験をする中で、子どもたちが触れたり嗅いだり見たりしながら、感性を養うことにつながっていたと思う。また、子どもたち自らが自然に興味を示し、探究する姿が見られていた。子どもたちが気づき、疑問を持ち、調べたり表現したりする姿はとても生き生きしており、教員側も学ぶことが多かったと感じる。今後も引き続き活動を継続させ、子どもたちの探究活動を充実させたい。